

地域中核企業創出事業について

ア) 北海道経産局・ノーステック財団

北海道経済産業局は北海道の医療機器産業の育成を目的として地域中核企業創出支援事業として「医療機器・医療部材及び周辺分野への道内ものづくり企業等の参入支援事業」（ネットワーク事業）をスタートさせました。従来、機能性食品やバイオ中心であった北海道地区でも本格的に医療機器を普及させるため北海道庁「北海道医療機器関連産業ネットワーク事業」と密接な連携を取りながら事業が進められています。

当 NPO は北海道経済産業局の本事業と北海道庁の事業の両方の受託機関である公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）を通じ、新規参入の北海道の企業の展示会への出展支援、医工連携の商談会での北海道企業と製販業者とのマッチング支援を初めて受託しました。昨年度ドゥリサーチ研究所を通じ受託した東北経産局の医療機器受託事業での実績を評価戴いたこと、また札幌地区担当リーダーを始めとする地道な当 NPO の PR 活動によるものです。

具体的に本年は第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（6 月）に於ける医工連携・出会いの広場での支援として、北海道地区をはじめ出展した 22 社に対しパネル表示、先生方への説明の仕方などに関し支援を行いました。さらに 9 月には東京医科歯科大学で開催された医工連携商談会で北海道の IT 関係の企業と医療機器のニーズを持っている医療機器製造販売業者 17 社とのマッチングを支援しました。また、11 月にも東京、名古屋、大阪などで開催される医療機器展示会に出展される企業に対する展示会のコツについて日本医工ものづくりコモンズの柏野専務などと講演研修会などでの支援、HOSPEX（東京）X に出展中の 10 社の北海道企業とのマッチングアレンジなどを行いました。

北海道では IT 関係の会社が多く今後これらの会社がコンソーシアムを組み、モノづくり企業も巻き込んだ事業展開を図ろうとしており、NPO も積極的に支援していきたいと考えております。

イ) 東北経産局・ドゥリサーチ

東北経産局の平成 29 年度地域中核企業創出・支援事業では当 NPO は前年に引き続きドゥリサーチ研究所よりコーディネーター業務を受託しました。本年は継続中の Y 社〔雪ヶ谷精密工業〕とともに新たに T 社〔ツガワ〕を支援する事となりました。Y 社の支援は、昨年は生産合理化を中心に実施しましたが、本年は事業発展の為の販路開拓に注力、新規分野において医療機器製造販売業者の TU 社と具体的な話し合いに入っております。一方 T 社は将来の医療機器製造販売業を目指し、PR シートの作成を終え、選定したマッチング先との面談の準備に入っております。

ウ) 関東経産局（野上技研）、(大日機械工業)

掲題二つのテーマについて下記の通り報告いたします。

茨城県の「野上技研」は、古くからの当 NPO の「特定支援会員」で、長年のお付き合いがあります。若い社長のもと、プレス打抜き切断加工で、ミクロンの世界に挑戦している大変意欲的な企業です。リチウムイオン電池の電極薄板加工において、圧倒的なシェアを持っており、この強みをベースに地域の中核的な企業に成長し、更に世界に飛躍する事を支援しています。

日本の大きな目標の一つは「水素社会構築」のリーディングカントリーになる事ですが、その一端を担う会社が横浜市にある「大日機械工業」です。原子力機器製造の技術をベースにコストをこれまでの 1/2 に削減した画期的な「水素製造装置」を開発し、今後設置される水素ステーションに組み込まれることが期待されています。

これら二つの支援事業では、顧客開拓のほか、技術紹介セミナー、ビジネスマッチング会の開催、展示会への出展、市場調査、大学との連携など、多岐にわたる支援活動を行っており、当 NPO の持つポテンシャルが大いなる威力を発揮しております。

エ) 関東経産局（田島軽金属）

本支援事業の目的・概要は、同社の主要製品である砂型アルミ鋳物を中心に、国内外の市場調査を実施し、新たな市場等への進出を支援すると共に、中国における生産拠点設立を目指し、法的支援を専門家との連携のもと行うものです。また、グループ企業体の共同受注・生産体制機能の強化を実現すると共に I o T 等の活用を見据えた開発力・生産性の向上を検討し、開発から量産までの一貫生産体制構築を支援するものであります。

事業の具体的実施内容は、

＜事業運営定例会の開催＞

本事業で行う、事業の進捗報告を行い事業実施者との事業に関わる情報共有をすると共に、当該事業における方針等の意思決定をする場として開催致します。

＜新市場開拓と高マッチング型展示商談会の実施＞

自動車分野・医療機器分野等の新たな販路開拓を図るため、PM、CD及び専門家は国内大手企業を中心に、新規部品事業への軽量化素材採用ニーズの調査やマーケット調査を実施し、大手企業へのシーズプッシュ型マッチングを実施致します。あわせて、次年度以降の市場開拓に向けた市場調査及び先行市場開拓として、「彩の国ビジネスアリーナ」の場を活用し、PL企業の技術展示を行い、展示ブースにて高マッチング型展示商談会を行い、参入可能性のある市場に対して、販路開拓を行います。また、市場開拓を進めると共にそれらの受注に対応すべく、生産性向上を目的とした協力企業とのネットワーク構築の円滑化、社内体制の環境整備に対しアドバイスを行います。

＜中国工場設立に向けた支援＞

中国市場における軽金属ニーズ獲得に向けグローバルネットワーク協議会や J E T R O ・

専門家等との連携のもと現地への生産工場の設立における法的支援のアドバイスをを行い、生産工場開設を目指します。

<プロジェクトの管理・運営>

当NPOにおいて、本プロジェクトの全体管理・運営を行うとともに、プロジェクトの過程と成果について取りまとめます。

オ) 中国経産局（ひろぎん経済研究所）

中国経産局から本事業を受託した、ひろぎん経済研究所からの委託に基づき、下記支援事業を本年11月に実施致しました。

1) 事業名：平成29年度「地域中核企業創出・支援事業」中国地域先進環境対応車創出促進プロジェクト ダイハツ九州向け「中国地域 新技術・新工法展示商談会」

2) 支援対象企業：中国地区5県のものづくり企業20社

3) 支援内容：平成30年1月実施予定のダイハツ九州調達関係者、生産技術者、一次仕入先向け展示商談会への出展社の出展内容に関するブラッシュアップ活動を6名の当NPO会員で実施。

・面談実施日・実施場所：11月24日 於；テクノサポート岡山

・実施内容：①展示商談会セミナー

②各社提案のブラッシュアップ指導

③後日②に基づくアドバイザリーシート作成

カ) 四国経産局・STEP次世代燃料電池システム創造支援事業

STEPは平成29年度地域の中核企業の創出・支援事業(ネットワーク型として 四国経産局に「水素・燃料電池事業創出・支援事業」を企画申請して受託しました。イノベーション創出協議会(44支援機関)コーディネーター及び当NPOがそのコンソーシウムメンバーとして参加しております。燃料電池の普及にはコスト低減という課題があり、構成する各部品の性能向上や製造・組立工程の省力化が不可欠である為、四国で関連技術に優れた技術力を持つ地域企業を、専門家やコーディネーター等の支援ネットワークを活用しながら支援する目論見であります。四国企業の中から9社が選ばれてヒヤリング会をかわきりにして当NPOメンバーも参加し、まずは現状の業界の実情をセミナーや関連識者を通して蒐集し、企業の意向と具備する技術力と実績の把握をはかり、プランを立てて企業と相談する手順で進んでおります。9社間の技術間には直結する関連もないので各社独自の展開となっていますが、企業が具備する技術と或程度確立された業界への新規参入の困難さとその価値判断は企業にとって容易ではないと思われれます。特に車の世界は将来的には今やEV指向が一気に浮上し、日本が得意とするFCV(燃料電池車)の動向が注目される所以であります。